

# 共催事業「『広島都心部まちづくり』の次なる展開」

広島支部まちづくり委員会 北本 拓也

令和7年度 特別講演会

「『広島都心部まちづくり』の次なる展開～官民連携まちづくりの新たなフェーズに向けて～」

日時：2026年1月11日(日) 13:30～16:20

場所：合人社ウエディヒト・まちプラザ

主催：日本都市計画学会中国四国支部

共催：日本建築学会中国支部、広島県建築士会広島支部

後援：国土交通省中国地方整備局、広島県、広島市、土木学会中国支部、日本技術士会中国本部、中国新聞社

参加者：78名

趣旨説明：渡邊一成氏

基調講演

テーマ「官民連携まちづくり」

講師：渡邊浩司氏(日本都市計画学会会長)

パネルディスカッション

テーマ「広島の都心再生2.0

～官民連携まちづくりの新たなフェーズ～」

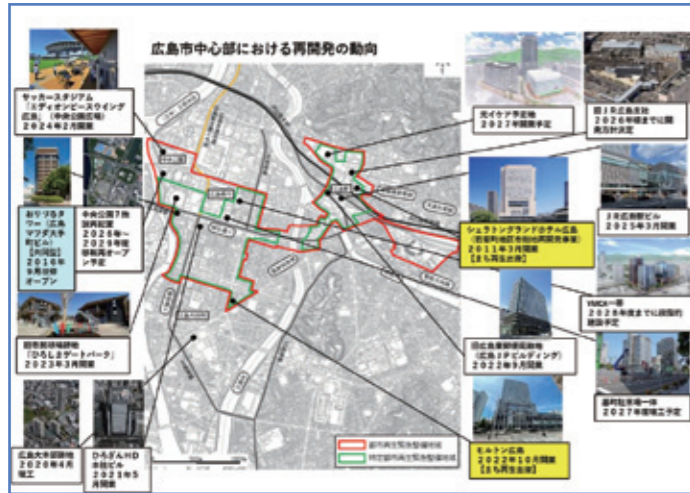
パネリスト：谷口千春氏、久保西竜氏、水口直也氏、

諏訪正浩氏

コーディネーター：田中貴宏氏



連携まちづくりの将来像について議論された。原爆の記憶だけでなく復興の歩みや現在の広島で生きる人々の姿を伝えることが、未来への希望や共感を生むとの意見が示された。来訪者が街の活動を「眺め、滞在し、交流する」ための公共空間や都市景観の工夫が重要であり、コーヒーイベントなど日常的な体験が平和の実感につながるとされた。また、広島の高い国際的知名度を生かし、訪問者が「何かを残して帰れる」関わり方を促すこと、官民連携でハードだけでなくソフトや発信力を強化することが、持続的な都市価値向上に不可欠だと示された。また、市民は決定者であると同時に消費者・利用者であり、自ら望む都市体験を発信することが必要だとされた。さらに、広島の高いシビックプライドや潜在的な思いを引き出し、反映する場づくりが、市民主導のまちづくりを加速させるとまとめられた。講演会開催は、翌日の中国新聞社の朝刊で紹介された。



日本都市計画学会会長渡邊浩司氏による基調講演では「官民連携まちづくり」というテーマで、産・官・学・民が連携する新しい枠組みが不可欠であるとともに、人間中心のまちづくりを目指す「ウォークアブル」な都市構造が求められること、単にハード整備を行うだけでは都市再生にはつながらず、人々の活動や居心地の良さ、多様な使われ方が価値を生むことが重要であることが紹介された。

パネルディスカッションでは、官・民それぞれの立場でまちづくりに取り組む4人の登壇者(谷口氏、久保西氏、水口氏、諏訪氏)が田中氏の進行により、広島における官民

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.210 令和8年3月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号  
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>  
e-mail : [info@k-hiroshima.or.jp](mailto:info@k-hiroshima.or.jp)

発行人 会長 佐名田 敬荘  
編集人 広報委員長 梶川 彰彦



## 表紙写真について

海田実践倫理会館

- 所在地 / 広島県安芸郡海田町大正町
- 敷地面積 / 775.00㎡
- 建築面積 / 345.13㎡
- 延床面積 / 745.25㎡
- 構造規模 / S造地上3階建
- 設計 / 株式会社竹中工務店
- 施工 / 株式会社竹中工務店

“ひとつらなり”の集いの場

広島市の東隣、海田町に立地する集会施設の建替計画である。ニュートラルな3枚のプレートを重ね、周辺環境にあわせて壁をずらしながら配置することで、まちに呼応した多様な空間を創出することを考えた。敷地形状に合わせた東西の抜けと、その両端に配したテラスが屋内外の連続した空間を創出し、内部は起伏に富む海田町の地勢がそのまま連続するように吹抜階段やスロープによってつながる立体的な回遊空間とした。屋内外・敷地境界を越えて“ひとつらなり”につながる空間が、このまちなしさを見出すためのきっかけとなることを目指した。



© 益永研司写真事務所 © ウエドイカメラ (※)

## CPD 認定プログラム(3～5月の広島県内実施分)

2026年2月5日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
3/10	既存住宅状況調査技術者講習(更新)	5	広島県建築士会	082-244-6830
3/10	技術発表会(広島/オンライン)	6	空気調和・衛生工学会	03-5206-3600
3/12	監理技術者講習	4	広島県建築士会	082-244-6830
3/21	村井家住宅(旧市村郵便局)見学会	6	広島県建築士会尾道支部	0848-23-5300
4/22	「住宅の新築・リフォーム工事における見積書の重要性和提案手法」の講習会	5	経済調査会	03-5777-8222
4/23	電気工事作業指揮者安全教育講習会 4/23	3	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
5/16	H1501 ドローンを活用した建物劣化診断技術	2	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
5/17	H1501 ドローンを活用した建物劣化診断技術	3	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
5/21	第一種電気工事士定期講習(広島市) 5/21	6	電気工事技術講習センター	03-3435-0897

### 令和8年4月1日から 建築確認申請等の 電子申請の受付を開始します

広島県では令和8年4月1日より、一般財団法人建築行政情報センターが提供する「電子申請受付システム」を利用した建築確認申請等の電子申請の受付を開始します。電子申請は、所管の消防機関が電子申請への対応が可能な区域が対象です。

<電子申請の対象手続き等> (令和8年1月末時点)

手数料納付申請先	対象の申請建築物等の所在地 <sup>※1</sup>
西部建設事務所	竹原市、大竹市、府中町、大崎上島町
東部建設事務所	世羅町
北部建設事務所	—

対象の申請	対象の建築物等
●確認申請	●建築物：すべての建築物
●計画変更確認申請	●昇降機：すべての昇降機
●計画通知	●工作物：法第88条第2項を除く工作物
●変更計画通知	(例：擁壁、広告塔等)

※1：上記の市町以外(江田島市・海田町・熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町・府中市・神石高原町・三次市<sup>※2</sup>・庄原市・安芸高田市)は電子申請を行うことができません(令和8年1月末現在)。  
※2：三次市内の一部の建築物及び工作物については、三次市が所管しています。ただし、許可等を伴う場合には、県の所管となる場合があります。

詳細は、県ホームページをご確認ください。

令和8年4月1日から、確認済証等の処分通知及び広島県建築基準法施行細則に規定する様式の一部について、建築主事等の押印を廃止する予定です。



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝承として受け継がれて、竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かになるにはどうしたらいいのかが、未来の環境をつくる使命を持って、新しい建築を世に送りだしていきたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい伝統になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。

「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」  
竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めていきます。

竹中工務店(広島県) 竹中工務店(広島県) 竹中工務店(広島県)

株式会社竹中工務店 本社：〒541-0053 大田区中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000

想いをかたちに 未来へつなぐ  
TAKENAKA

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに  
より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(遵法性調査、定期報告等)
- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F  
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201  
東京支店: 東京都千代田区神田富山町22-7F  
福岡支店: 福岡県福岡市中央区天神四丁目3-30-7F

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail: [mail@jesupport.jp](mailto:mail@jesupport.jp)

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は  
迅速、的確な審査で、皆様の建物の  
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぽりカバーしています

Energia 中国電力グループ ハウスプラス中国住宅保証株式会社  
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店: 広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル  
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608

# 骨材の異なる調湿漆喰タイルの調湿試験及び強度試験に関する研究

## その2 調湿試験の分析及び考察について

執筆責任者 森村 毅 (呉支部)

### 1. はじめに

本報告は、その2として、その1(2026年1月号)で報告した写真1と写真2で示す8種類の異なる調合の漆喰タイルの調湿試験結果の分析を行い、それについて考察を加え、最適な漆喰タイルについて報告する。



写真1 A～H型試験体



写真2 A～H型設置状態

### 2. 湿潤試験

本実験はA型～H型の各タイルの湿潤試験前の初期重量を測定する。測定後写真3のように養生ケースに水を張り、各試験体を養生ケース内の水中に数時間静置させ、数時間経過後に各試験体を取り出し、表面をタオルでふき取り、表乾状態時吸水重量として電子天秤で測定する。各タイルに含水された限界吸水量は下記の算定式で計算される(図1参照)。



写真3 タイル湿潤状態

$$\text{含水重量(g)} = \text{表乾状態時吸水重量} - \text{初期重量}$$

図1 タイル内に含まれる限界含水量の算定方法  
 $\text{限界含水量} = \text{表乾時吸水重量} - \text{初期重量}$  (式1)

### 3. 実験結果

この度の実験では調湿試験と湿潤試験に重点をおいた。まず調湿試験では、経過日数に対する湿度とタイル重量を求め、経過日数と湿度によるタイル自身の吸放湿量を求め、それに基づいてタイル壁面積 $m^2$ 当りの吸放湿量を計算する。また、各タイルの限界含水量は、写真3で示す水を張った養生ケース内の各タイルを湿潤させて上述の式1より求める。

### 3.1 調湿試験による吸湿・放湿量

調湿試験は写真2に示す2個の養生ケースの四隅上にタイル4枚ずつ計8枚を設置し、その横に精度0.01g測定可能な電子天秤を置き、ケース前に湿度計を置き定期的にA型～H型8枚のタイル重量と湿度を測定する。

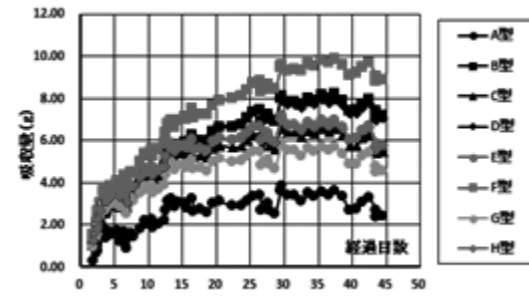


図2 各タイルの吸湿量

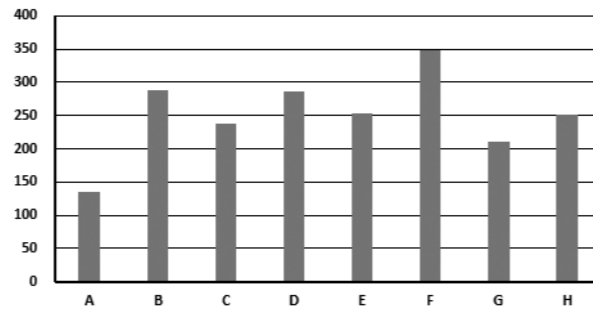


図3 各タイル試験体の $m^2$ 当りの最大吸湿量

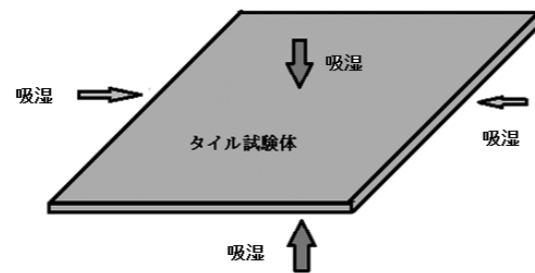


図4 調湿試験のタイル試験体

その結果、図2は図4のタイル6面から吸湿・放湿させた経過日数45日目までのA型～H型タイルの湿度に対する吸湿・放湿量である。図3は $m^2$ 当りの各タイルの最大吸湿量の比較である。

### 4. 考察

#### 4.1 調湿試験

##### (1) タイル内の室内湿度と吸湿量の関係

図2より開封前の全てのタイルは空気に触れてないため含湿量は少ないと考えられる。開封後はタイルが空気に触れるためタイル表面は空気中の水分をタイル内部に吸湿するため、各タイルの許容吸湿量である平衡状態になるまでタイル内に吸湿する。従って、各タイルは開封後4日目までに空気中の水分を吸湿して吸湿量が増加する。その後5～30日で吸湿量の増加は落ちるがタイルの許容吸湿量まで吸湿するが、平衡状態になると、タイル内の水分の吸放湿は室内湿度の変化に左右され、それは、図2から読み取ることができる。

##### (2) 調湿効果

図5(a)(b)は吸湿量の少ない十和田軽石A型と吸湿量の多い美濃白川麦飯石F型の経過日数と吸放湿量及び室内湿度の関係を示す。この図5を見ると、十和田軽石A型及び美濃白川麦飯石F型とも室内湿度変化に、ほぼ追従して吸放湿していることがわかる。上述のことから、A～H型タイルは全て調湿効果に優れた素材である。特に、美濃白川麦飯石F型・十和田湖軽石B型・新島コーガ石D型は優れている。このF型・B型・D型は消石灰・石灰製砂とも配合比が20%のものである。他のA型・C型・E型・G型・H型は消石灰12%、石灰製砂31%であり、消石灰・石灰製砂の影響が平衡状態時吸湿量に非常に大きく影響を与えることがわかる。

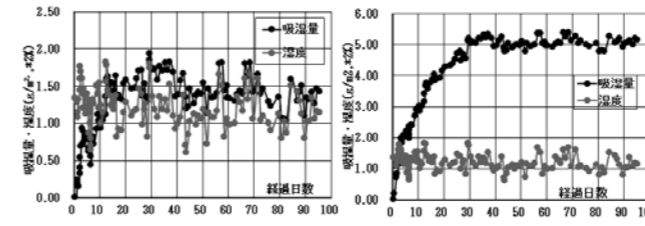


図5 十和田A型と美濃白川F型の日数と吸湿量と湿度

##### (3) 最大吸湿量比較

図3は各試験体の $m^2$ 当りの最大吸湿量の比較である。F型の美濃白川麦飯石タイルが $348.35g/m^2$ で、十和田湖軽石A型の $134.94g/m^2$ の2.58倍あり、非常に吸湿量が多いことがわかる。また、B型・D型も2.14倍、2.12倍とF型

よりも若干小さいが、2.1倍あり同様な効果がある。それに対してC型、E型、G型、H型は1.56倍～1.88倍で、A型よりは多いがF型、B型、D型よりも吸水量は若干落ちる傾向を示した。その中で、特に竜山石膏のG型は1.56倍であり、他の骨材よりも小さい。

#### 4.2 各タイルの表乾時吸水量と平衡時吸水量

図7は各タイルの平衡時吸水量・表乾時吸水量及び平衡時/表乾時の比較である。図6より表乾時吸水量はタイルが水を最大に吸水した吸水量である。G型が50.11gと他の1.5倍～1.7倍吸水するが水中で粉碎した。十和田軽石A型・B型は形状を保持しており水に強いことがわかる。美濃白川麦飯石F型は小さなひび割れが見られたが十和田湖軽石の次に水に強いといえる。後のタイルは全て大きなひび割れが見られ水に脆弱である。

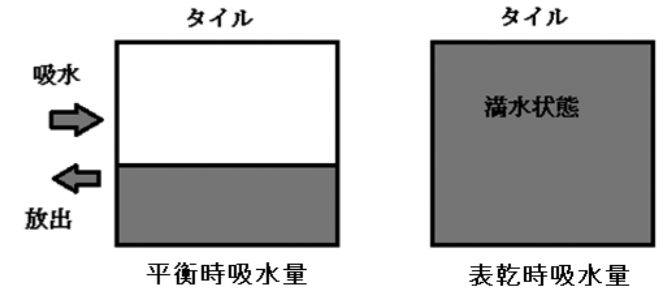


図6 平衡時吸水量と表乾時吸水量

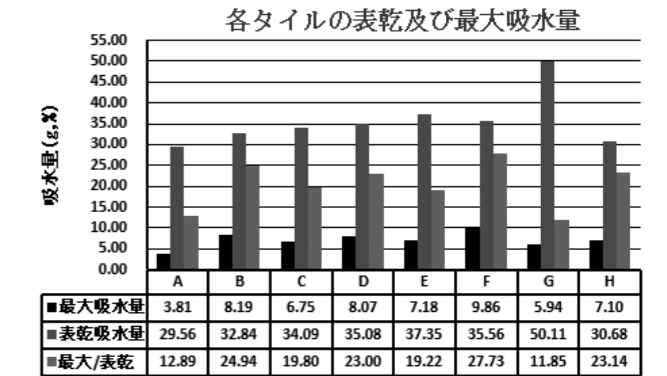


図7 表乾吸水量と平衡時吸水量の比較

### 5. まとめ

以上より、十和田湖軽石B型・A型及び美濃白川麦飯石F型は調湿試験・湿潤試験の結果、タイル材として最適である。その内、十和田湖軽石A型は調湿試験の吸湿量が若干小さいが、平衡状態時の吸湿量からは、室内湿度に対してよく追従しており、タイル材として適している。新島コーガ石D型は十和田湖軽石B型と調湿試験・湿潤試験がほぼ同等な性質をもっている。



**安全で安心な住まいづくりをサポートします。**

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関  
**株式会社 広島建築住宅センター**  
 URL: <http://www.hkic.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10  
 TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231  
 営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22  
 TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974